

分かると快感!

Z会ナビ

▶算数 理科 歴史 地理

A君たちは、さいころ作りキットを使ってさいころをたくさん作ることにしました。キットには、1、2、3、4、5、6という数字がついた6枚の正方形の板が入っていて、接着剤で貼り付けると、立方体のさいころが作れます。

さいころでは、反対の面どうしの数字の和が7になるのが正しいさいころです。つまり、1の反対の面は6、2の反対の面は5、3の反対の面は4ということです。

ところが、A君たちはこのきまりを知らなかつたので、6枚の板を手当たり次第に貼り付けて、数字の並び順がでたらめなさいころを作ってしましました。

さいころはたくさん作ったので、中には、偶然正しくできたものもあるのですが……、その割合はどのくらいと考えられるでしょうか？

でたらめに作ったたくさんのさいころの中から、正しいさいころを選別すると考えましょう。

1の反対の面の数字で選別

たくさん作ったさいころの中には、1の反対の面が正しく6になっているものもあるし、1の反対の面が2や3など、間違った数字になっているものもありますね。そこで、まずは、1の反対の面が正しいかどうかで選別しましょう。

1の反対の面の数字には、2、3、4、5、6という5種類の可能性があります。そして、A君たちは数字を気にせず手当たり次第に貼り

お題

ただ
正しくできる
さいころの割合は?

(早稲田大学 2014年 数学)

たくさんのさいころの中にはその3種類が均等に入っているはずですから、1の反対の面の数字がちゃんと6になっているさいころの中で、2の反対の面もちゃんと5になっているさいころの割合は、3分の1と考えられます。

このとき、残った数字は3と4ですから、3の反対の面も、正しく4になりますね。

全体の中で、1の反対の面がちゃんと6になっているものの割合は5分の1でした。その中で、さらに2の反対の面もちゃんと5になっているものの割合は3分の1ですから、正しいさいころの割合は、 $\frac{1}{5} \times \frac{1}{3}$ 、つまり $\frac{1}{15}$ です。

早大の問題では…

実は、早大では少し違う問題でした。早大の問題では、赤い面二つ、黒い面二つ、白い面二つのように、面を二つずつ同じ色にした立方体をたくさん作ると、反対の面どうしが同じ色になっているものの割合を考えます。

でもそれって、1と6は赤い面、2と5は黒い面、3と4は白い面——のように考えれば、今回の問題と同じことですね。【Z会・宮坂聰】

! 今回の教訓

たくさんの中から徐々に選別すると考え、どれほど絞り込まれるかを見積もりました。



みやさかさじん 宮坂聰さん 2006年Z会入社。これまで5年間、大学受験用の数学の教材編集を担当。趣味は音楽と読書。妻と子3人暮らしだ。1982年、長野県諏訪市生まれ。